

白杵市 施策評価シート
(令和2年度)

評価 担当者	課名	氏名	内線
	建設課	高野 裕之	2600

コード	Ⅲ-8-14	施策名	防災・減災のための環境整備
施策の方針	災害に強いまちをつくる		
まちづくりの方針	自助・共助の精神を持った市民が暮らす、災害に強いまち(防災)		
5年後のめざす姿	自然災害から命を守るため、避難路の整備や危険箇所への対策、公共施設の維持・整備などを図り、防災・減災に取り組みます。災害発生時には、市民が安心して避難や生活ができるようライフラインをはじめとする災害に強い施設の整備をめざします。		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 危険箇所や河川警戒区域、ため池氾濫区域など住民の適切な避難行動及び軽減に繋げるため、各種ハザードマップの整備を行います。 防災・減災対策としての道路・港湾・河川・ため池・上下水道施設などの環境整備を行います。 災害時に安全にそして早く避難するために避難路の環境整備を行います。 		

<指標>

新規 指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移					
				R1	R2	R3	R4	R5	R6
避難路の整備箇所【累計】	自主防災組織による整備箇所数		目標	箇所数	36	37	38	39	40
			実績	箇所数	35	37			
			達成率		102.8%				
急傾斜地崩壊対策事業の整備箇所数【累計】	年次計画による整備箇所数		目標	箇所数	18	20	22	24	26
			実績	箇所数	16	21			
			達成率		116.7%				
ハザードマップを作成した「ため池」箇所数【累計】	ハザードマップを作成した「ため池」の箇所数		目標	箇所数	32	32	32	32	32
			実績	箇所数	19	32			
			達成率		100.0%				
防火水槽の耐震化数【累計】	年次計画による整備箇所数		目標	箇所数	41	43	45	47	50
			実績	箇所数	43	45			
			達成率		109.8%				
			目標						
			実績						
			達成率						
			目標						
			実績						
			達成率						
			目標						
			実績						
			達成率						
指標の分析	ため池のハザードマップ作成については、国の補助制度を受け、13箇所のハザードマップを作成することができた。コロナウイルス感染症の影響により、大人数が集まったの避難路整備が実施しづかったものとする。								

<市民意識調査結果>

市民意識調査結果 (R2調査)	領域名	必要度	満足度
	強化領域	2.74	1.96
市民意識調査結果分析	令和2年度実施のアンケート結果では、「必要度」が高く、「満足度」は低い「強化領域」に位置しており、取り組みの強化が求められています。 住民とのワークショップにより作られた、ため池ハザードマップは、減災のための住民周知には有効な手段と考えられますので、今後も作成していきたい。避難路を地域で整備することで、避難路の確認、安全な避難行動に繋がると考えられますので、今後も制度の周知を図っていききたい。		

満足度

2.40

2.25

2.10

1.95

1.80

1.65

1.50

見直し領域

向上領域

検討領域

強化領域

2.00

2.53

2.00 2.15 2.30 2.45 2.60 2.75 2.90

必要度

<次年度以降の課題>

令和3年度以降の課題	現状では、ため池のハザードマップ作成は完了していますが、制度変更等により、さらにハザードマップ作成が必要となる場合があるため、それに備え、国の補助制度の把握等による予算確保に向けた取り組みが今後も必要となります。避難路整備については、高齢化が進み地域での整備が困難となっており、広域での整備などに取り組む必要があります。
------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R1年度実績	R2年度実績	R3年度見込み			
1 避難路の整備事業	避難路の整備(手すり・生コンの支給)	防災危機管理課	○	-	-	1,549	重点化		Ⅲ-7-13
2 急傾斜地崩壊対策事業	人家1戸からの急傾斜地の土砂災害未然防止事業	建設課	○	25,282	28,673	43,532	継続	○	
3 農村地域防災減災事業	ハザードマップの作成	農林振興課農林基盤整備室	○	=	5,213	-	継続	○	
4									
5									
6									
合計				25,282	33,886	45,081			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	災害時は早く、安全に避難する事が大切であり、そのため避難路の整備が重要であり制度の周知を図っていく必要があります。	課長評価
概ね順調	ため池ハザードマップの作成は、現時点で防災重点ため池は完了しましたが、今後も必要なため池が生じた場合は、県との連携を密にして有利な補助金制度の活用とワークショップ等による地区住民の啓発を行っていく必要があります。	目標を達するため、現状維持とする

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

内部評価	目標を達するため、現状維持とする	全ての指標で目標を達成しており、現状維持の取り組みを行う施策であるため。
------	------------------	--------------------------------------

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
危険箇所は、指標の目標値に関わらず、各年度できるだけ多く施工してほしい。地域のため池や水路の維持管理は高齢化により、住民で行うことがどんどん困難となっている。市内の危険箇所の把握状況を確認したい。	維持

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

指標の目標は、状況の変化の可能性があることや、実施主体や受益者負担金などがあるため、目標値は据え置き、各年度の予算や災害状況に応じてできるだけ対応したい。
